

# 心豊かに 力強く 生き抜く 読解力向上 「相馬プラン」

## 令和7年度 学校教育課重点目標 【地域づくりを支え、 心豊かに 力強く生き抜く子どもの育成】

### ねらい

○ リーディングスキルテスト(以後RSTと表記)を活用することにより、児童生徒の「基礎的・汎用的な読解力」を可視化し、科学的・客観的なデータに基づいて分析することで、教科書を用いた、教師の授業改善や指導力向上及び児童生徒の読解力向上を目指す。

### 授業改善の重点「相馬メソッド」

- ◇ 教師がRSの視点で教科書を読む。
- ◇ 子どもが教科書をフル活用する。
- ◇ 教師と子どもでめあての確認をする。
- ◇ ノートに残す板書を構築する。
- ◇ 教師の意図が伝わる表現をする。
- ◇ 意図的にアウトプットの機会をつくる。
- ◇ 具体例生成や同義文生成の活動を取り入れる。
- ◇ 文の読み方を明示的に指導する。



**子どもたちに社会を生き抜くための力をつけさせ、ひいては人生を豊かにするため「読解力向上」を目指す。**

◆ 本市の現状(R6年度RST受検結果から)  
(能力値平均で表示)

【照応解決】  
小5年:-0.84 小6年:-0.65  
中1年:-0.44 中2年:-0.22 中3年:-0.04

【同義文判定】  
小5年:-0.73 小6年:-0.58  
中1年:-0.41 中2年:-0.37 中3年:-0.15

【イメージ同定】  
小5年:-0.84 小6年:-0.55  
中1年:-0.37 中2年:-0.27 中3年:-0.07

【解答の傾向として(散布図から)】

- ・ 解答数が多く正答率が低い(キーワード読み、読みとばし)

◆ 推進中学校区の実践

- (1) 向陽中学校区の研究推進校(向陽中、山上小、八幡小、中村一小、飯豊小、日立木小)
- (2) 公開授業研究会の開催(2学期)
  - ・ RSの視点を意識した授業を公開し、事後研究を実施することにより、授業像の共有を行う。
  - ・ 市内全小中学校教員参加(講演会)
- (3) RSノートの取組の共通実践

◆ 【データベースの活用・推進】  
相馬市教員が授業で使えるお役立ちコンテンツを活用。

- ・ 「RS 6分野7項目早わかり表」
- ・ 「授業お役立ち」シート
- ・ 「RSやってみました!」シート集
- ・ 各授業の指導案
- ・ RST日より「サポートRST」

◆ 【指導主事による要請訪問・授業参観】

- ・ RST研修会による指導・助言
- ・ RST結果分析訪問による支援

◆ 公立学校研究指導員会における取組

○ 相馬市公立学校研究指導員の推進リーダーとしての位置付け、定期的な研修会等の実施

- ・ 各学校1名指導員を位置付け
- ・ 授業改善研修(写真や動画を活用した実践発表や模擬授業、効果的な取組の共通研修等)
- ・ 「サポートRST」の作成
- ・ データベース活用
- ・ 小中連携の確認
- ・ 各校におけるRST結果分析
- ・ 今年度の総括と次年度の構想・計画

◆ 各小学校・中学校の取組

- (1) RST受検
  - ・ 小学校5-6年、中学校1-2-3年生
  - ・ 6月中旬から7月中旬までの受検
  - ・ 結果分析
- (2) RSの視点を意識した「授業改善」
  - ・ 6分野7項目の視点を意識した研究
  - ※ 重点は
    - ① 「照応解決」
    - ② 「同義文判定」
    - ③ 「イメージ同定」
 (算数・数学の学力向上対策も含む)
  - ※ 各学校ごと、RSTの結果分析に応じて、6分野7項目の絞り込みを行う。
  - ・ ノートに残ることを意識した板書
  - ・ 教科の重点化  
小学校:社会科・算数科・理科(その他)  
中学校:社会科・数学科・理解(その他)
- (3) 新聞活用事業の活用
- (4) 各中学校区で共通の取組(小中連携)
  - ・ 校長会議で確認
- (5) 教育課程への位置付け・実践・検討
- (6) 家庭での学習としての取組